

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「クラブと地区の  
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「しなやかな変化で  
奉仕を高めましょう」



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー  
2560地区ガバナー 新保 清久  
高田ロータリー会長 橋詰 敏一  
幹事 田中 正人

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守  
小池 猛紀

## 第25回例会 ■ 1月19日(金)

No.25

### 会長挨拶 ● 橋詰 敏一



今日は寒中、明日 20 日は二十四節気の「大寒」です。来週は、寒さ厳しくなりそうです。シベリアでマイナス 65℃ をもたらした寒波が降りて来るようです。先週末の大雪の後、この月曜は当地域もマイナス 7～8℃ でしたが、郊外では水蒸気が凍る霧氷が見られ、雪も結晶のままでキラキラ光り、美しい光景にしばし見とれました。寒さも和らぐ光景でした。冬の使者、白鳥も田んぼの雪の解けた所で頭を泥の中に入れてでも、草や稲の株の根をついばんでおりました。生き物にとっては、生存の厳しさを感じます。無事に帰れますよう祈りました。人間にとっても同じです「風邪」等に気を付け、栄養を付け、お酒も適度にいただき、乗り切りたいものです。

さて、今月は職業奉仕月間ですが、先週もふれましたが1月の「ロータリーの友」にも特集されています。皆様にも色々な思いで、このロータリー活動に参加されておられますが、自分の仕事とロータリーを見つめる良い月間と思います。一読下さい。また、クラブ活動にも影響します、大谷ガバナーノミニーの関係役員の人選や各大会の開催日を決める時期となり、大谷ノミニーは活動を開始されました。2月中には、皆様にも発表できると考えております。今後は少しずつ、クラブ

活動とガバナー事務所活動の2頭立てで進む事となりますが、宜しくお願致します。

### 出席報告

出席率 93.10%

### セレモニー

米山記念奨学会表彰  
クラブ表彰

稲田善昭君・藤林陽三君・三井慶昭君

### 委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

田中正人君——大雪の中、ご会葬いただきありがとうございました。

三井慶昭君——今日までパチンコ業を生業として来ました。今日より、賃貸業を生業とする事になりました。パチンコの神様に感謝、皆様に感謝。

伴 長門君——遅ればせながら、昨年末に我母の葬儀に際しましてお心遣いいただきありがとうございました。

社会奉仕委員会——2月9日オークションのご案内

### 幹事報告

配布物：週報No.24

## 卓話

# 「上越警察署管内の治安概況」について

上越警察署長 中村 栄様



高田ロータリークラブの皆様には日頃より様々な我々警察活動に対しご協力を頂き誠にありがとうございます。

この度の卓話では、上越警察署管内の治安概況として発生件数別に8つの項目に分類をし、皆さんに話をしたいと思います。⇒ 3種類の資料参照

- ① 110番通報の受理件数ですが、H23年から29年までのデータでは6年間は減少傾向にあり、7,980件が6,492件迄減少。29年は7,442件と受理件数が増えていますが、これは一つの事件に対しての続報が近年多くなっていることと、緊急を要しない問い合わせが増加したことによるものでこの10年間は内容的にはほぼ横ばいであると見ております。
- ② 刑法犯の認知件数（泥棒・暴行・傷害等）はH20～の10年間で1,688件が1,028件と約4割減少しています。あくまで届け出があったものを受理分としてカウントしていますが、一つの治安のバロメーターとして捉えて頂きたい。減少は防犯カメラの普及や自転車泥棒が減ったことや住宅のセキュリティ対策が進んだことが上げられます。又周辺諸外国との格差が縮まり外国人犯罪が減ったことが要因であります。
- ③ 交通事故の発生状況ですが、H20～の10年間で986件が314件と約7割減少しています。素晴らしい実績をあげている反面、事故発生に対しての死亡事故は県内で上越市は現在ワースト1位にいる事を認識してください。事故が格段に減少したのは1道路の環境整備が進んだこと、2飲酒運転の罰が非常に重くなったこと、3エアバックや構造強化など、4交通マナーの浸透が考えられます。
- ④ 犯罪少年（14才以上）の検挙と触法少年（14才未満）の補導状況ですが、10年間で160件が36件と4分の1に減少しています。これは少子化による子供の人数自体が減少しており、

近年の生活環境の変化により少年たちがインドア傾向にあることも原因と考えられます。ここまでの4項目は素晴らしく全て減少していますが、次からの項目は逆に全て増加傾向にあります。

- ⑤ 警察への相談受理数ですが、10年間で2,044件が4,006件と倍近く増えています。これは家庭内で解決出来ない問題が非常に多くなったことが一番の原因です。
- ⑥ ストーカー、配偶者からの暴力事案の取り扱い件数ですが、10年間で54件が164件と3倍近く大きく増加しております。
- ⑦ 児童虐待の取り扱い件数ですが、H26～の比較で14件が59件と4倍に増加
- ⑧ サイバー犯罪検挙件数ですが、H25～の比較で7件が39件と5倍以上の増加傾向に現在あります。

⑤～⑧は全て増加傾向にあり、これは現代社会・生活環境の変化がもたらした、新しい犯罪でもありますので警察自体がこれらに順応し問題解決に対応して行かなくてはこれらの件数を減らすことは出来ませんので、地域の為にも強い気持ちで取り組むたいと思っております。

そんな中にあっても上越市は、非常に住みよい街づくりが出来ている地域であると私自身は感じています。上越市は人口1,000人当たりの犯罪件数・事故件数をとってみても、いずれも全国平均以下で新潟市と比べても数値が低く、県内平均以下でもあります。これからも、皆さんには家族の絆・地域の絆・人との絆を大切にいただき、高田RCとして上越のためにその指導にあたってもらいたいと思っておりますので是非とも宜しくお願い致します。

本日は素晴らしい機会を与えて下さり大変感謝いたしております、誠にありがとうございます御座いました。

以上

## 2月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
27	2月2日	会員卓話：久保 克文君 演題 未定	デュオ・セレッソ
28	2月9日	オークション<夜例会>	高田ターミナルホテル
29	2月16日	BSN上越支社長 鍵富 徹様 演題 未定	デュオ・セレッソ
30	2月23日	ギャラリー葵 代表 飯野 ケイ様 演題 未定	デュオ・セレッソ